平成 29 年度（公財）松山観光コンベンション協会

事　業　報　告

Ⅰ．事業概要

平成２９年度は、松山市にとって正岡子規・夏目漱石生誕１５０年の記念の年であり、四国ディスティネーションキャンペーンや国体が開催されるなど大きなイベントが集中した年でした。当協会としては、公益財団法人の使命と社会的責任を一層自覚し、より高い公益性を発揮しながら、まちの魅力である「光」を発信し、観光・物産・コンベンションの振興を図り、松山市・愛媛県の経済活性化により一層努めることを目標に活動を実施しました。

観光面におきましては、ＪＲが展開した四国ＤＣや「道後オンセナート２０１８」プレオープンまた６４年ぶりの開催となった愛媛国体などで盛り上がったほか「瀬戸内・松山」構想を掲げる松山市と連携を図りながら誘客に努めるとともに、鳥取・高知との連携で「三角ルート」を形成しＰＲを図るなど、県内外の様々な方面からの誘客促進事業として Facebook 等を活用して、最新の観光情報を発信しました。そのほか松山マドンナ大使による観光ＰＲ活動や、観光客の受け入れとして「観光ボランティアガイド」によるおもてなしの心を持った主要観光施設（松山城・道後温泉）などの案内を行いました。

物産面におきましては、広域連携事業として高知市で開催のイベントにおいてミニ物産展を開催するとともに、札幌の東急百貨店においては、１９回目となる「物産と観光展」を愛媛県と連携して実施し、愛媛・松山の誇る物産の販売と観光ＰＲを行いました。また、松山ブランドを推進しつつ、「食」の充実を図るための飲食店ＭＡＰを作成しました。

コンベンション事業におきましては、四国地区ならびに中国・四国地区のコンベンション推進協議会や７都市情報交換会による広域的な関係構築を継続し、人的交流・情報交換を進めるほか、懇談会では他団体で縁のある主催者との交流を通じて誘致活動を行いました。また、２７回を数える国際ＭＩＣＥエキスポ（ＩＭＥ２０１８）では、これまでの展示会形式から商談会形式へ転換して実施され、松山独自の支援や魅力を材料に商談を進め誘致活動に取り組みました。さらに、誘致に成功した全国大会や国際会議等においては、支援メニューを提供するなど、主催者や参加者に松山での開催を喜んでいただけるよう最大限のおもてなしを行いました。

国際交流事業としては、台北市と松山市が友好交流協定を再調印したことから、台湾において積極的に観光キャンペーン及び物産ＰＲ事業を開催したほか、台北市政府関係者等の招聘などを実施し台湾からの誘客に努め、台北ドラゴンボートレースや台北マラソンなどのスポーツイベントにも観光ブースを出展。また、台北ランタンフェスティバルにおいて松山をイメージしたランタンを設置し、台北市民に対して大いに松山をＰＲしました。今後も、観光をはじめスポーツ、文化、学術等の交流に協力します。

各事業の詳細につきましては、別紙のとおりです。

Ⅱ．公益目的別事業報告

１．観光・物産振興事業（公益目的事業１）

（１）「おいでんか松山」観光客誘致促進事業

＜受注型企画旅行＞

助成業者　３８社（詳細は、別紙資料３参照）

旅行会社が松山市へ観光客を送客する受注型企画旅行に関し、貸切バスや船舶にかかる費用の一部を助成することで観光客の誘致を促進した。

＜平成２８年度募集型企画旅行送客実績＞

①宇和島運輸㈱　　②九州旅客鉄道㈱

③近畿日本ﾂｰﾘｽﾄ個人旅行㈱中部国内企画ｾﾝﾀｰ

④㈱近畿日本ﾂｰﾘｽﾄ中国四国中国四国ﾒｲﾄｾﾝﾀｰ

⑤㈱JTB 国内旅行企画　西日本事業部　中国四国商品企画部

⑥瀬戸内海クルーズ㈱瀬戸内海汽船ﾄﾗﾍﾞﾙｻｰﾋﾞｽ

⑦東武ﾄｯﾌﾟﾂｱｰｽﾞ㈱西日本国内企画ｾﾝﾀｰ

⑧西鉄旅行㈱　⑨㈱日本旅行赤い風船西日本事業部　⑩㈱日本旅行赤い風船東日本事業部

⑪㈱日本旅行赤い風船西日本事業部広島企画ｾﾝﾀｰ

⑫㈱農協観光愛媛支店　　⑬㈱ﾌｼﾞﾄﾗﾍﾞﾙｻｰﾋﾞｽ（13 業者）

販売店舗数　延べ　15,576 店／印刷部数　891,000 部

平成 28 年度送客実績	３２，９９２名

（２）松山マドンナ大使関連事業

2017 年度　松山マドンナ大使関係事業

委嘱式　　平成 29 年 4 月 1 日（土）

派遣件数　　６５件（延べ日数　１４５日）

2018 年度　松山マドンナ大使選考会

期　　日　　平成 29 年 12 月 9 日（土）

応 募 者　　４５名

場　　所　　松山市総合コミュニティセンター

2017 年度 松山ﾏﾄﾞﾝﾅ大使

（３）観光ＰＲ事業（新聞・テレビ・雑誌等によるＰＲおよびイベント）

①　広告宣伝関連

ア　週刊「観光経済新聞」掲載観光広告 外

イ　愛媛ＦＣ及び愛媛マンダリンパイレーツの試合会場への広告掲載

ウ　愛媛マラソン手荷物預り袋への広告

②　イベント関連

期　　日　　平成 29 年 6 月 1 日（木）～6 月 11 日（日）

場　　所　　道後温泉本館周辺

内　　容　　愛媛県・香川県を主会場に開催された「2017 日台観光サミット in 四国」を盛り上げるとともに、台湾から本県への誘客促進に繋げるため、平成２９年２月に、台北市西門町で開催された「２０１７台北ランタンフェスティバル」において展示されたランタンオブジェを放生園と道後温泉本館北側、本館前の坊っちゃん広場の３カ所に展示する「道後温泉ランタン回廊」を実施した。

ランタン展示

（４）観光キャンペーン事業

①　松山 DAY　in　神宮球場　観光キャンペーン

期　　日　　平成 29 年 7 月 23 日(日)

場　　所　　神宮球場

内　　容　「東京ヤクルトスワローズ　ＶＳ　阪神タイガース」

・ｶﾗｰﾋﾞｼﾞｮﾝによる PR（試合開始前､2 回裏終了､3 回裏終了､7 回裏終了）

・のぼりの設置、横断幕の掲示、観光ポスターの掲示、ラッキープレゼントの実施、両軍選手代表への花束・記念品贈呈、球団への記念品贈呈、選手への差し入れ、松山市長による始球式、観光パンフレット等ノベルティの配布（1,000 名）を実施した。

始球式

カラービジョン

ノベルティ配布

ポスター掲出

②　台湾・台北市観光キャンペーン

ア．台北国際ドラゴンボートレース２０１７

期　　日　　平成 29 年 5 月 28 日（日）～5 月 30 日（火）

場　　所　　台北市

内　　容　　台北市で開催されたドラゴンボートレース会場内において、松山の観光ＰＲブースを出展。レースは、過去最高の 217 チーム・応援団等の観客は、3 日間で 10 万人を超え、多くの来場者で連日ブースは賑わった。海外からの出展は松山だけであり、大いに松山のＰＲに繋がった。

レースの様子

松山ブース

ブースの賑わい

式典

イ．2017　第３回 Touch　The　JAPAN

期　　日　　平成 29 年 8 月 25 日（金）～8 月 28 日（月）

場　　所　　台北世界貿易センター1 号館 C エリア

内　　容　　日台の交流を増進するため、より多くの台湾人に日本の魅力を紹介することで一層の日本訪問へのきっかけになることを目指し開催された「2017 年第 3 回 Touch The Japan」に、愛媛県・（一社）愛媛県観光物産協会・道後温泉旅館協同組合・（公財）松山観光コンベンション協会が参加し、愛媛県松山市の観光ＰＲを行った。今回は商談会にも参加し、台湾の航空会社・旅行会社の担当者へ愛媛県松山市への送客について協力を依頼した。また商談会終了後に開催された交流会では、台湾の旅行関係者等と出展者の間で有意義な意見交換ができた。

開会式

商談会

ブース

会場内

ウ．２０１７台北温泉まつり

期　　日　　平成 29 年 10 月 19 日(木)～10 月 22 日（日）

場　　所　　新北投温泉駅前広場・台北松山駅

内　　容　　「2017 台北温泉まつり」へブースを出展し松山の観光ＰＲとチャリティ事業として物産販売を実施し、台湾からの誘客促進並びに松山市と台湾・台北市との友好交流拡大を図った。また、今年は、松山出身の歌手えひめ憲一・永井奏馬の二人による歌を披露し、訪れた方たちに楽しんでいただいた。

温泉祭り開会式

パレード

PR ブース

ブースの賑わい

えひめ憲一

永井奏馬

エ．２０１７台北マラソン

期　　日　　平成 29 年 12 月 17 日（日）

場　　所　　台北市政府庁舎前

内　　容　　約２万人のランナーが参加する「2017 台北マラソン」へブースを出展し松山の観光ＰＲを実施。ブースでは、愛媛県や松山市の観光パンフレットを配布したほか、ランナーに対し道後温泉ハンドタオル等のノベルティを配布することで、松山への誘客を図った。

観光ＰＲブース

観光ＰＲブース

マラソンの様子

オ．２０１８台北ランタンフェスティバル

期　　日　　平成 30 年 2 月 24 日（土）～3 月 4 日（日）

場　　所　　台北市西門町

内　　容　　「2018 台北ランタンフェスティバル」に松山のランタンを出展。松山のイメージが伝わるように道後温泉、松山城、坊っちゃん列車などのランタンを製作し展示した。また点灯式に出席するとともに、期間中、観光ブースを設置し松山の観光ＰＲに努め、ピストルダーツを実施し会場を大いに盛り上げた。

点灯式の様子

観光ブースの様子

松山をモチーフにしたランタン

（５）物産と観光展事業

①　松山の物産と観光展（札幌）

期　　日　　平成 30 年 2 月 22 日(木)～2 月 27 日(火)

場　　所　　札幌市（さっぽろ東急百貨店）

内　　容

（１）　物産展―松山市が誇る選りすぐりの食品２６業者（新規１）、工芸品８業者（新規１）が出店。

（２）観光展―愛媛県内の主要な観光地をポスターやパンフレットで紹介。
「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」を施設の概要や陶板等で紹介。

（３）特別企画―①「お楽しみ袋」、「今治タオル」を数量限定で販売。
②まつやま農林水産物ブランドの「せとか」や愛媛県のオリジナル品種「甘平」を数量限定で販売。
③「お楽しみ抽選会」の実施。抽選会参加者を対象（アンケートに答えた方のみ）に 3 月 25 日札幌・松山直行便就航記念に伴う「Wチャンス」を実施。

（４）表敬訪問等―開催に伴い札幌市をはじめ関係団体、旅行会社を表敬訪問。

（５）宣伝ＰＲ―開催期間中、適宜街頭宣伝を行った。

表敬訪問

開展式

街頭宣伝

お楽しみ抽選会

みきゃんとの撮影会

会場内１

会場内２

観光コーナー

②　松山の物産と観光展（首都圏等）

ア.　第 38 回大新宿区まつり「ふれあいフェスタ 2017」

期　　日　　平成 29 年 10 月 15 日（日）

場　　所　　東京都新宿区戸山公園

内　　容　　松山市観光・国際交流課と（公財）松山観光コンベンション協会が協力して、観光 PR や特産品販売を行った。ステージでは、松山の旬の話題「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」や「子規・漱石生誕１５０年記念」のＰＲを実施し、郷土芸能「野球拳」を披露した。多くの来場者に効果的な観光情報や坊っちゃん文学賞の PR を実施することができた。

ブース

ステージイベント

会場の様子

イ．　「旅する新虎マーケット　第４章」スペシャルイベント「旅する湯まつり」

期　　日　　平成 30 年 1 月 26 日（土）～1 月 27 日（日）

場　　所　　東京・虎ノ門ヒルズ

内　　容　　「明治改元１５０年」にゆかりのある自治体（薩摩川内市・萩市・松山市）が参加し、その土地に根付いた＜歴史＞を軸にしながら、人、暮らし、文化、工芸を取り上げていくもので、足湯・柑橘・地酒・特産品・地元体験を３都市共通のキーワードとし、各都市がそれぞれ工夫を凝らしたＰＲを展開した。
松山市の体験コーナーでは、特にみかんジュース蛇口に行列ができるほど人気があった。更に足湯に浸かりながら俳句を詠んだり射的ゲームを楽しみながら松山を体感していただいた。
特産品販売では、この時期が旬な柑橘“せとか”“甘平”のほか松山名菓“坊っちゃん団子”“タルト”などの販売を行い大好評であった。
松山市コーナーには２日間で延べ４００人程度が来場され、様々な体験メニューを通して松山を身近に感じていただき、事前に用意したノベルティも全て配布し、平成２９年１２月２６日（火）にグランドオープンした「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」を中心に松山の観光情報を効果的に発信できた。

物販

地酒のふるまい

足湯

蛇口からみかんジュース

射的体験

俳句コーナー

ウ.　いろんなまちの観光物産展２０１８

期　　日　　平成 30 年 3 月 10 日(土)～3 月 11 日（日）

場　　所　　高知市ひろめ市場

内　　容　　（１)観光 PR・・・・観光パンフレットやポスター等で主要な観光施設を紹介するとともに、「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」タオルを配布し、松山の魅力をＰＲ。

（２)物産販売・・・松山名菓（坊っちゃん団子・タルト等）の販売。

開展式

会場内

松山ブース

（６）パンフレット等の作成頒布事業

①　松山城　　540 冊

②　瀬戸のまつやま「海ごはん」ＭＡＰ　　10,000 枚

（７）案内所運営事業

①　松山城東雲口駅舎１階案内所（委託業務）

②　道後観光案内所（委託業務）

③　JR 松山駅松山市観光案内所(委託業務)

④　松山観光港ターミナル観光案内所(委託業務)

観光案内業務	件　数	78,771	件
松山観光レンタサイクル事業(道後観光案内所)	件　数	1,269	件
松山観光レンタサイクル事業(松山城東雲口駅舎１階)	件　数	890	件

（８）松山観光ボランティアガイド事業

①　ボランティア活動報告

●登録者数　　１６８名

1. 案内コース	道後周辺	松山城
2. 案内日	毎日（年末年始除く）	毎日（年末年始除く）
3. 案内時間	9:00～12:00	9:00～12:00
	13:30～16:30（金土日祝のみ）	13:00～16:00
4. ガイド人数	平日　　２名	平日　　４名
	土日祝　４名	土日祝　１０名
5. 案内件数	2,043 件	3,903 件
6. 案内人数	6,612 人	16,998 人

1. 案内コース	坂の上の雲ﾐｭｰｼﾞｱﾑ周辺	JR 松山駅発 伊予灘ものがたり、湯・遊ｺｰｽ
2. 案内日	毎日（坂の上の雲ﾐｭｰｼﾞｱﾑ休館日及び年末年始除く）	土日祝（年末年始除く）
3. 案内時間	9:30～12:30	
	13:00～16:00	12:30～16：30
4. ガイド人数	平日　　２名	土日祝　松山城　１名
	土日祝　６名	土日祝　道後　　３名
5. 案内件数	2,249 件	松山城 13 件　道後 73 件
6. 案内人数	5,492 人	松山城 24 人　道後 210 人

②　ボランティア募集事業

ふるさとふれあい塾　～松山観光文化コンシェルジェ講座～

主　　催　　松山商工会議所・松山大学・(一社)愛媛県観光物産協会・松山市
(公財)松山観光コンベンション協会

開講期間　　平成 29 年 9 月 29 日(金)～平成 30 年 1 月 5 日(金)　（全 15 回）

場　　所　　松山大学　（松山市文京町 4-2）

受 講 者　　一般　９４名・大学生　７６名　　計１７０名

２．コンベンション事業（公益目的事業２）

（１）誘致促進事業

①　誘致セールス活動の実施

松山市において開催可能性のあるコンベンションの主催者を対象に、県外では主に東京方面で誘致宣伝活動を実施した。

加えて、松山市内外の地元主催者への誘致宣伝活動を積極的に実施した。

（詳細は別紙資料４参照）

首都圏：　１０４団体

県　内：　　８２団体

②　第２７回国際ＭＩＣＥエキスポ（ＩＭＥ２０１８）への参加（出展）

会　期　　平成 30 年 2 月 28 日（水）～3 月 1 日（木）

会　場　　京王プラザホテル

主　催　　日本政府観光局（ＪＮＴＯ）

（一社）日本コングレス・コンベンション・ビューロー（ＪＣＣＢ）

概　要　　今年で２７回目を迎える IME2018 は、京王プラザホテル（東京・新宿）にて開催された。今回はこれまでの展示会形式から商談会形式へ転換する初の試みであり、77 団体・82 ブースのセラーが出展し総来場者（参加者）は 949 名（バイヤー469 名、セラー370 名、メディア 24 名、後援団体、VIP 等 86 名）を数え、盛況のうちに終了した。

メイン会場で行われた商談会は、13:30 から 15 分間のセッションが計 10 セッション設けられ、開始直後から来場者で賑わい、どの時間帯でも多くのブースで熱心な商談が行なわれた。

松山ブースにおいては、コンベンション支援パンフレットや主要コンベンション施設ガイドの他、観光パンフレットを配布し、各主催者の要望に応じた支援の説明やエクスカーション提案を通じて、松山の魅力をＰＲし、主催者に対しより一層松山を印象付けることで、効果的なコンベンション誘致活動を行った。

会場風景

松山ブース

松山ブースでの商談風景

③　誘致懇談会の開催

ア　中国・四国地区コンベンション推進協議会事業

中国・四国地区のコンベンション推進機関１４団体で構成する協議会であり、相互に意見・情報交換し、事業の円滑な遂行を図る。

・中国・四国地区コンベンション推進協議会総会の開催
開催日　　平成２９年７月６日（木）～７月７日（金）
会　場　　松山市立子規記念博物館（松山市）
出席者　　１３団体３０名

・中国・四国地区コンベンション推進協議会研修会
開催日　　平成３０年３月１５日（木）～３月１６日（金）
会　場　　広島国際会議場

イ　７都市情報交換会事業

全国を７ブロックに分け、各ブロックから１団体コンベンション推進団体が参加して構成する会であり、相互に情報交換を実施するとともに、年に１度、東京で主催者を招き懇談会を実施。

・７都市情報交換会（５回実施）
開催日及び場所　①平成 29 年 7 月 20 日（木）　北見
②平成 29 年 10 月 4 日（水）　東京
③平成 29 年 12 月 7 日（木）　高知
④平成 30 年 1 月 24 日（水）　東京
⑤平成 30 年 3 月 8 日（木）　前橋

・７都市情報懇談会の開催
開催日　　平成 30 年 1 月 25 日（木）
会　場　　東京會舘　ＬＥＶＥＬ　ＸＸＩ（Twenty-One）「スタールーム」
東京都千代田区大手町 2-2-2
主　催　　７都市情報交換会
概　要　　コンベンション主催者約３０名と７都市情報交換会の関係者約３０名の合計約６０名が一堂に会し、コンベンションに関する情報の提供を行い、７都市でのコンベンション開催を積極的に働きかける等、盛会のうちに終了。

プレゼンテーション

情報交換の様子

会場内風景

ウ　コンベンション地元誘致懇談会の開催

平成 30 年度以降、愛媛県内で大会開催予定の地元キーパーソンや有力者などの主催者を招き、大会準備や運営に関する情報・意見交換と、当協会賛助会員との商談機会の創出を目的として、年に１度懇談会を開催。

・コンベンション地元誘致懇談会
開催日　　平成 29 年 11 月 6 日（月）
会　場　　松山全日空ホテル南館

講演会　　会場内風景　　郷土芸能披露

④　海外からの誘致促進事業

ア．日台サミットに伴うランタン関係者招聘

日時　　平成 29 年 5 月 29 日（月）～6 月 3 日（土）

内容　　平成 29 年 5 月 31 日～6 月 4 日に愛媛県・香川県を主会場に開催された「2017 日台観光サミット in 四国」を盛り上げるとともに、台湾から本県への誘客促進に繋げるため、台北市西門町で開催された「２０１７台北ランタンフェスティバル」において展示したランタン約１０体を道後温泉周辺の３カ所に設置した。「道後温泉ランタン回廊」を展開するため、ランタン関係者を招聘し設置作業に協力していただくとともに点灯式に参加していただいた。

設置作業　　ランタン　　点灯式

イ．台北市政府観光傳播局関係者招聘

日時　　平成 29 年 11 月 16 日（木）～11 月 20 日（月）

内容　　2017 年 11 月に開催された「えひめ・まつやま産業まつり すごいもの博 2017」に合わせて、台湾から台北市政府観光傳播局の関係者ならびに商圏産業連合会関係者を招聘。友好交流都市として台北市の観光ブースを設置し台北市のＰＲに努めていただくとともに、台湾の飲食を紹介する 18 のブースが出展し、台北と松山との交流に尽力していただいた。

開展式　　台北ブース

（２）開催支援事業

①　開催助成金制度

愛媛県内へのコンベンション誘致を推進し、コンベンション振興を図るため、県内で開催されるコンベンションに対し交付した。

交付件数　　42 件（平成 28 年度：38 件）

交付総額　20,670,000 円（平成 28 年度：9,792,000 円）

（詳細は別紙資料５参照）

②　歓迎用看板等の掲出

国際会議および全国規模（原則として参加者１，０００人以上が条件）のコンベンションを対象に、松山空港ビルに看板・パネルを掲出表示。歓迎の意を表することで、参加者に対し松山のイメージアップを図り、来松のリピート効果を上げるために実施した。

掲出実績　　松山空港ビル　１６件（詳細は別紙資料５参照）

③　支援グッズの作成

・「ようおいでたなもし’１７～’１８」（愛媛・松山観光ガイド）の発行

アフターコンベンション用ブックとして、食べ飲み歩きＭＡＰと文化観光施設等割引入場券を一緒にした形で発行。コンベンション参加者に提供した。

発行部数　　３５，０００部

・ナイロン製アームバッグの作成

コンベンション参加者の支援用として作成配布した。

作成枚数　　５０，０００部

④　サポートスタッフの派遣

コンベンションボランティア（会議時における受付・クローク、通訳等）をコンベンション開催時に派遣した。

＜派遣実績＞

・年間　２件（延べ人数７人）

⑤　その他

・えひめコンベンション施設ガイドの提供

誘致用パンフレットとして、コンベンション主催者に提供した。

提供部数　　約　５００部

（３）調査・研究事業

①　経済波及効果調査

・平成２８年度コンベンション統計の作成

平成２８年度に県内で開催されたコンベンションの件数･人数また経済波及効果の調査結果をまとめた資料を作成した。

〈概要〉　コンベンション客　　１，４０１，９０５人（平成 27 年度：1,503,394 人）

推定消費額　　７０億円（平成 27 年度：80 億円）

②　コンベンション調査

ア　平成２９年度コンベンションカレンダーの発行

平成２９年度に県内で開催されるコンベンションを記載したもので、賛助会員ならびに大学関係者等に配布した。（発行部数：２，０００部）

イ　アンケート調査の実施

コンベンション参加者を対象に、参加地区・利用交通機関・訪問観光地・宿泊ほか参加経費等について調査を行い、経済波及効果測定等の基礎資料とした。

ウ　コンベンションビューロー部会

ＪＣＣＢ会員（７業種１１９会員）のうち、コンベンションビューローの会員（７１団体）で組織する部会において、コンベンションの振興を図る上での課題等を検討、協議する会。

エ　平成 29 年度ＪＣＣＢ総会

開催日　　平成 29 年 6 月 12 日（月）

会　場　　京王プラザホテル（東京）

オ　平成 29 年度ＪＣＣＢ第１回部会

開催日　　平成 29 年 7 月 20 日（木）～7 月 21 日（金）

会　場　　ホテル黒部（北見）

カ　平成 29 年度ＪＣＣＢ第２回部会

開催日　　平成 30 年 12 月 7 日（木）～12 月 8 日（金）

会　場　　高知市高知会館（高知）

サ　四国地区観光コンベンション推進団体情報交換会出席

四国地区のコンベンション推進５団体（高松、徳島、鳴門、高知、松山）で構成し、「四国」として共同誘致や事業等を推進していくための会

＜第１回＞

開催日　　平成 29 年 8 月 4 日（金）

会　場　　高知市

＜第２回＞

開催日　　平成 30 年 3 月 14 日（水）

会　場　　松山市

③　管理システムの運用

コンベンションの誘致・支援活動の状況や、キーパーソンに関する情報等を管理し、効率的な誘致・支援につなげるためのシステム運用

・支援を行った大会等

支援件数　　１６８件（平成 28 年度：１３４件）

資料配付数　　５７，３２８部（平成 28 年度：４０，１９５部）

（詳細は別紙資料５参照）

Ⅲ．収益事業報告

１．広告料収入事業

（１）松山城ロープウェイ駅舎３階壁面広告

広告期間　　平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
広告掲載業者　　10業者

（２）物産陳列ケース広告

展示期間　　平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
展示業者　　２３業者

（３）松山城ロープウェイ・ゴンドラ内広告

広告期間　　平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
広告掲載業者　　８業者

（４）（公財）松山観光コンベンション協会ホームページバナー広告

広告期間　　平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
広告掲載業者　　11業者

２．手数料収入事業

（１）案内所での記念グッズ販売による手数料

佐川印刷㈱絵はがき・一筆箋・メモ帳販売	販売数	１８０	冊
佐川印刷㈱自動販売機（ｽﾄﾗｯﾌﾟ・ﾌﾞｯｸﾏｰｶｰ）販売	販売数	７８５	個
愛媛新聞サービスセンター書籍販売	販売数	６	冊
㈱エス・ピー・シー書籍販売	販売数	１４	冊
㈱エーシー松山オリジナルグッズ販売	販売数	７３７	個
松山はいくチケット販売	販売数	４４	枚
㈱学校図書ＣＤブック販売	販売数	５	冊
㈱ムラヤマ城カード	販売数	９３９	枚
山口造形企画室ペーパーオーナメント・しおり	販売数	２６５	枚

（２）自動販売機での飲料販売による手数料

設置業者　　大塚製薬㈱・四国乳業㈱・コカ・コーラボトラーズジャパン㈱
　　ダイドービバレッジサービス㈱
売上本数　　３０，７４５本

（３）記念メダル販売による手数料

①松山城メダル

メダル等販売数　１０，２６７個

刻印機利用数　　３，５４２回

②道後温泉メダル

メダル等販売数　　１，２８７個

刻印機利用数　　３９０回

３．販売収入事業

（１）名刺台紙販売

販売数　　１５３個

（２）図書販売

販売数　　１，１６０冊

（３）ハンドタオル販売

道後温泉足湯タオル販売数　　８２４枚

松山城ハンドタオル販売数　　８８枚

（４）オリジナルグッズ販売

記念バッジ販売数　　２５個

紙袋販売数　　８，０４０枚

Ⅳ．その他管理事業等

１．機関紙作成

年２回各４，０００部を発行し、全国のコンベンション推進団体及び賛助会員に配布した。

２．ホームページ及び電子パンフレット運営業務

〔参考〕ユーザー訪問(ﾍﾟｰｼﾞﾋﾞｭｰ)数　　３６０，３０５件

３．新規会員の確保

新規加入　　１２件
会　　員　　４１０件(3 月 31 日現在)

４．会議開催

理事会・評議員会の開催を随時行うほか、各専門委員会（企画開発委員会・誘客促進委員会・観光物産振興委員会）を必要に応じ適宜開催した。

（１）理事会

内容については別紙資料１
①期　　日　　平成 29 年 5 月 16 日(火)
　場　　所　　伊予鉄会館
②期　　日　　平成 29 年 6 月 12 日(月)　　※　決議の省略
③期　　日　　平成 29 年 12 月 15 日(金)　　※　決議の省略
④期　　日　　平成 30 年 3 月 29 日(木)
　場　　所　　松山全日空ホテル

（２）評議員会

内容については別紙資料１
①期　　日　　平成 29 年 4 月 1 日(土)　※　決議の省略
②期　　日　　平成 29 年 5 月 31 日(水)
　場　　所　　国際ホテル松山

（３）各専門委員会

内容については別紙資料２

①誘客促進委員会

期　　日　　平成 29 年 8 月 22 日（火）

場　　所　　松山センタービル　１号館　４階　第１会議室

②観光物産振興委員会

期　　日　　平成 29 年 9 月 8 日（金）

場　　所　　松山市立子規記念博物館　１階　視聴覚室

③企画開発委員会

期　　日　　平成 29 年 9 月 12 日（火）

場　　所　　松山市総合コミュニティセンター　２階　第４会議室

④企画開発委員会

期　　日　　平成 30 年 3 月 15 日（木）

場　　所　　松山市立子規記念博物館　１階　視聴覚室

５．共催・協賛事業

（１）第４７回野球拳全国大会

期　　日　　平成 29 年 4 月 1 日（土）

主　　催　　春まつり野球拳全国大会実行委員会

（２）第１４回伊予節全国大会

期　　日　　平成 29 年 4 月 1 日（土）

主　　催　　伊予節全国大会実行委員会事務局

（３）第４７回奥道後皐月展

期　　日　　平成 29 年 5 月 13 日（土）～6 月 4 日（日）

主　　催　　愛媛皐月協会

（４）第６７回松山港まつり・三津浜花火大会

期　　日　　平成 29 年 8 月 20 日(日)

主　　催　　松山港まつり振興会

（５） いもたき事業（共催事業）

・出合橋下河川敷

期　　日　　平成 29 年 9 月 8 日(土)～10 月 14 日（日）

主　　催　　観光松山いも炊き会

参 加 者　　5,786 名

（６）松山を楽しもうｷｬﾝﾍﾟｰﾝ 2017（共催事業）

期　　日　　平成 29 年 8 月～11 月

主　　催　　松山を楽しもうキャンペーン 2017 実行委員会

（７）第４９回奥道後菊花展

期　　日　　平成 29 年 10 月 21 日（土）～11 月 23 日（木・祝）

主　　催　　西日本菊花芸術協会

（８）松山城「お正月」イベント（共催事業）

期　　日　　平成 30 年 1 月 1 日（日・祝）

主　　催　　松山市、伊予鉄道（株）松山城総合事務所

（９）恵みにだんだん！松山フェア

期　　日　　平成 30 年 2 月 1 日（木）～2 月 28 日（水）

主　　催　　センチュリーロイヤルホテル（札幌市）

(10) 坊っちゃんカップ・第１１回道後温泉卓球大会（共催事業）

期　　日　　平成 30 年 2 月 19 日（月）～2 月 21 日（水）

主　　催　　公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団

(11) 第５６回愛媛マラソン

期　　日　　平成 30 年 2 月 3 日（土）～4 日（日）

主　　催　　愛媛陸上競技協会、南海放送、愛媛新聞社、松山市

(12) 第１２回まつやま農林水産まつり

期　　日　　平成 30 年 2 月 17 日(土)～18 日（日）

主　　催　　まつやま農林水産まつり実行委員会

(13) 愛媛調理製菓専門学校「料理作品展２０１８」

期　　日　　平成 30 年 2 月 11 日（日・祝）

主　　催　　学校法人愛媛学園　愛媛調理製菓専門学校

貸借対照表

平成30年3月31日現在

一般会計　　（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金	40,924,458	48,762,631	△ 7,838,173
未収金	43,704,073	43,899,361	△ 195,288
過払金返金	0	0	0
棚卸資産	1,898,825	1,731,574	167,251
流動資産合計	86,527,356	94,393,566	△ 7,866,210
２．固定資産			0
(1) 基本財産			0
基財・預金債権	521,000,000	521,000,000	0
投資有価証券	0	0	0
基本財産合計	521,000,000	521,000,000	0
(2) 特定資産			0
退職給与引当預金	6,553,761	3,553,761	3,000,000
特定資産合計	6,553,761	3,553,761	3,000,000
(3) その他固定資産			0
電話加入権	149,968	149,968	0
什器備品	21,882	27,352	△ 5,470
その他固定資産合計	171,850	177,320	△ 5,470
固定資産合計	527,725,611	524,731,081	2,994,530
資産合計	614,252,967	619,124,647	△ 4,871,680
Ⅱ　負債の部			0
１．流動負債			0
未払金	49,784,219	49,692,920	91,299
仮受金	20,844,312	28,969,072	0
流動負債合計	70,628,531	78,661,992	91,299
２．固定負債			0
退職給付引当金	39,284,855	37,507,559	1,777,296
固定負債合計	39,284,855	37,507,559	1,777,296
負債合計	109,913,386	116,169,551	△ 6,256,165
Ⅲ　正味財産の部			0
１．基金	0	0	0
基金	0	0	0
２．指定正味財産			0
指定正味財産合計	521,000,000	0	521,000,000
（うち基本財産への充当分）	(521,000,000)		(521,000,000)
３．一般正味財産			0
(1)代替基金	0	0	0
(2)その他一般正味財産	△ 16,660,419	502,955,096	△ 519,615,515
一般正味財産合計	△ 16,660,419	502,955,096	△ 519,615,515
正味財産合計	504,339,581	502,955,096	1,384,485
負債及び正味財産合計	614,252,967	619,124,647	△ 4,871,680

正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
（1）経常収益			
基本財産運用益	457,937	293,573	164,364
基本財産利息収入	457,937	293,573	164,364
特定資産運用益	0	0	0
特定資産運用収入	0	0	0
受取会費	12,120,000	12,170,000	△ 50,000
賛助会員会費収入	12,120,000	12,170,000	△ 50,000
事業収益	8,431,198	8,039,849	391,349
広告料収入	1,448,880	1,578,880	△ 130,000
手数料収入	2,353,357	2,297,750	55,607
販売収入	2,392,268	1,722,730	669,538
観光PR事業収入	0	329,200	△ 329,200
物産と観光展手数料収入	2,236,693	2,111,289	125,404
受取補助金等	172,534,688	160,448,928	12,085,760
市補助金等収入	171,534,688	160,448,928	11,085,760
県補助金等収入	1,000,000	0	1,000,000
受取負担金	1,000,000	1,000,000	0
負担金収入	1,000,000	1,000,000	0
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金収入	0	0	0
雑収益	137,465	171,561	△ 34,096
受取利息	819	864	△ 45
雑収入	12,000	0	12,000
雇用保険料預り金	124,646	170,697	△ 46,051
経常収益計	194,681,288	182,123,911	12,557,377
（2）経常費用			0
事業費	164,010,983	171,885,584	△ 7,874,601
報酬	636,179	650,850	△ 14,671
給料手当	32,171,932	31,138,744	1,033,188
退職給付費用	1,189,112	1,707,649	△ 518,537
福利厚生費	9,737,997	9,015,386	722,611
臨時雇賃金	4,149,503	3,074,977	1,074,526
会議費	2,390,933	1,517,869	873,064
旅費交通費	11,096,754	10,566,399	530,355
通信運搬費	6,915,882	9,301,717	△ 2,385,835
什器備品減価償却費	5,470	2,814	2,656
消耗品費	11,237,440	12,382,847	△ 1,145,407

印刷製本費	4,644,181	6,100,330	△ 1,456,149
諸謝金	10,608,840	8,398,015	2,210,825
報償費	600,000	600,000	0
委託費	33,729,009	42,958,808	△ 9,229,799
負担金支出	2,358,140	1,877,497	480,643
広告宣伝費	6,314,100	6,692,900	△ 378,800
賃借料	1,746,321	3,993,733	△ 2,247,412
修繕費	0	10,403	△ 10,403
保険料	291,620	928,120	△ 636,500
燃料費	0	0	0
光熱水料費	69,802	69,801	1
助成金支出	23,130,000	19,566,995	3,563,005
雑費	194,098	219,632	△ 25,534
期首棚卸高	1,731,574	1,728,890	2,684
期末棚卸高	△ 937,904	△ 618,792	△ 319,112
管理費	29,239,497	32,251,233	△ 3,011,736
役員報酬	6,075,234	5,824,313	250,921
給料手当	11,078,329	13,282,176	△ 2,203,847
福利厚生費	2,938,794	3,094,997	△ 156,203
臨時雇賃金	0	0	0
退職給付費用	588,184	1,190,012	△ 601,828
会議費	184,343	211,670	△ 27,327
旅費交通費	0	0	0
交際費	40,200	0	40,200
通信運搬費	1,304,007	1,534,351	△ 230,344
消耗品費	1,303,577	1,552,641	△ 249,064
印刷製本費	499,824	519,264	△ 19,440
諸謝金	200,000	200,000	0
委託費	663,768	1,061,208	△ 397,440
負担金支出	628,714	576,314	52,400
賃借料	2,142,696	1,886,594	256,102
修繕費	0	4,580	△ 4,580
保険料	364,020	201,100	162,920
燃料費	88,967	117,638	△ 28,671
光熱水料費	775,500	722,525	52,975
租税公課	357,900	271,850	86,050
減価償却費	0	0	0
有価証券運用損	0	0	0
雑費（予備費含まない）	5,440	0	5,440
経常費用計	193,250,480	204,136,817	△ 10,886,337

評価損益等調整前当期経常増減額	1,430,808	△ 22,012,906	23,443,714
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,430,808	△ 22,012,906	23,443,714
２．経常外増減の部			
（1）経常外収益			
過年度損益修正益	0	0	0
雑収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
（2）経常外費用			
一般正味財産修正額	521,000,000		521,000,000
退職給付費用			
棚卸資産廃棄損	46,323	13,568	32,755
経常外費用計	521,046,323	13,568	521,032,755
当期経常外増減額	△ 521,046,323	△ 13,568	△ 521,032,755
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 519,615,515	△ 22,026,474	△ 497,589,041
一般正味財産期首残高	502,955,096	524,981,570	△ 22,026,474
一般正味財産期末残高	△ 16,660,419	502,955,096	△ 519,615,515
Ⅱ　指定正味財産増減の部			0
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
指定正味財産修正額	521,000,000		521,000,000
当期指定正味財産増減額	521,000,000	0	521,000,000
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	521,000,000	0	521,000,000
Ⅲ　正味財産期末残高	504,339,581	502,955,096	1,384,485

平成29年度正味財産増減計算書（内訳表）

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

（単位：円）

科　目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計
	公1（観光・物産）	公2（ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ）	共通	小計	収1（販売等）	共通	小計			
Ⅰ　一般正味財産増減の部										
1．経常増減の部										
（1）経常収益										
基本財産運用益	0	0	457,937	457,937	0	0	0	0	0	457,937
基本財産利息収入			457,937	457,937			0			457,937
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用収入				0			0			0
受取会費	0	0	12,120,000	12,120,000	0	0	0	0	0	12,120,000
賛助会員会費収入			12,120,000	12,120,000			0	0		12,120,000
事業収益	2,236,693	1,089,300	0	3,325,993	5,105,205	0	5,105,205	0	0	8,431,198
広告料収入				0	1,448,880		1,448,880			1,448,880
手数料収入				0	2,353,357		2,353,357			2,353,357
販売収入		1,089,300		1,089,300	1,302,968		1,302,968			2,392,268
観光PR事業収入	0			0			0			0
物産と観光展手数料収入	2,236,693			2,236,693			0			2,236,693
受取補助金等	97,425,772	45,557,596	0	142,983,368	0	0	0	29,551,320	0	172,534,688
市補助金等収入	96,425,772	45,557,596		141,983,368			0	29,551,320		171,534,688
県補助金等収入	1,000,000			1,000,000			0			1,000,000
受取負担金	0	0	1,000,000	1,000,000	0	0	0	0	0	1,000,000
負担金収入			1,000,000	1,000,000			0			1,000,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金収入				0			0			0
雑収益	0	0	12,819	12,819	0	0	0	124,646	0	137,465
受取利息			819	819			0			819
雑収入			12,000	12,000			0			12,000
雇用保険料預り金				0			0	124,646		124,646
経常収益計	99,662,465	46,646,896	13,590,756	159,900,117	5,105,205	0	5,105,205	29,675,966	0	194,681,288
（2）経常費用										
事業費	103,495,884	52,354,197	4,513,870	160,363,951	3,647,032	0	3,647,032		0	164,010,983
報酬	0	0	636,179	636,179	0		0			636,179
給料手当	18,669,360	11,601,154	1,901,418	32,171,932	0		0			32,171,932
退職給付費用	454,865	734,247	0	1,189,112	0		0			1,189,112
福利厚生費	4,529,431	3,232,293	1,976,273	9,737,997	0		0			9,737,997
臨時雇賃金	2,013,443	2,136,060	0	4,149,503	0		0			4,149,503
会議費	498,869	1,892,064	0	2,390,933	0		0			2,390,933
旅費交通費	8,811,640	2,285,114	0	11,096,754	0		0			11,096,754
通信運搬費	6,701,161	214,721	0	6,915,882	0		0			6,915,882
什器備品減価償却費		0	0	0	5,470		5,470			5,470
消耗品費	8,211,030	2,835,545	0	11,046,575	190,865		190,865			11,237,440
印刷製本費	1,581,240	3,056,400	0	4,637,640	6,541		6,541			4,644,181
諸謝金	8,876,177	1,732,663	0	10,608,840	0		0			10,608,840
報償費	600,000	0	0	600,000	0		0			600,000
委託費	31,218,270	506,880	0	31,725,150	2,003,859		2,003,859			33,729,009
負担金支出	1,168,500	1,189,640	0	2,358,140	0		0			2,358,140
広告宣伝費	6,249,300	64,800	0	6,314,100	0		0			6,314,100
賃借料	1,047,392	122,104	0	1,169,496	576,825		576,825			1,746,321
修繕費	0	0	0	0	0		0			0
保険料	273,620	18,000	0	291,620	0		0			291,620
燃料費	0	0	0	0	0		0			0
光熱水料費	0	0	0	0	69,802		69,802			69,802
助成金支出	2,460,000	20,670,000	0	23,130,000	0		0			23,130,000
雑費	131,586	62,512	0	194,098	0		0			194,098
期首棚卸高				0	1,731,574		1,731,574			1,731,574
期末棚卸高				0	△ 937,904		△ 937,904			△ 937,904

科　目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計
	公1（観光・物産）	公2（ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ）	共通	小計	収1（販売等）	共通	小計			
管理費								29,239,497	0	29,239,497
役員報酬								6,075,234		6,075,234
給料手当								11,078,329		11,078,329
福利厚生費								2,938,794		2,938,794
臨時雇賃金								0		0
退職給付費用								588,184		588,184
会議費								184,343		184,343
旅費交通費								0		0
交際費								40,200		40,200
通信運搬費								1,304,007		1,304,007
消耗品費								1,303,577		1,303,577
印刷製本費								499,824		499,824
諸謝金								200,000		200,000
委託費								663,768		663,768
負担金支出								628,714		628,714
賃借料								2,142,696		2,142,696
修繕費								0		0
保険料								364,020		364,020
燃料費								88,967		88,967
光熱水料費								775,500		775,500
租税公課								357,900		357,900
減価償却費								0		0
有価証券運用損								0		0
雑費（予備費含まない）								5,440		5,440
経常費用計	103,495,884	52,354,197	4,513,870	160,363,951	3,647,032	0	3,647,032	29,239,497	0	193,250,480
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,833,419	△ 5,707,301	9,076,886	△ 463,834	1,458,173	0	1,458,173	436,469	0	1,430,808
基本財産評価損益等				0			0			0
特定資産評価損益等				0			0			0
投資有価証券評価損益等				0			0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,833,419	△ 5,707,301	9,076,886	△ 463,834	1,458,173	0	1,458,173	436,469	0	1,430,808
2. 経常外増減の部							0			
（1）経常外収益							0			
過年度損益修正益				0			0			0
雑収益				0			0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（2）経常外費用							0			
一般正味財産修正額			521,000,000	521,000,000			0			521,000,000
退職給付費用				0			0			0
棚卸資産廃棄損				0	46,323		46,323			46,323
経常外費用計	0	0	521,000,000	521,000,000	46,323	0	46,323	0	0	521,046,323
当期経常外増減額	0	0	△ 521,000,000	△ 521,000,000	△ 46,323	0	△ 46,323	0	0	△ 521,046,323
他会計振替額			380,833	380,833		△ 380,833	△ 380,833			0
当期一般正味財産増減額	△ 3,833,419	△ 5,707,301	△ 511,542,281	△ 521,083,001	1,411,850	△ 380,833	1,031,017	436,469	0	△ 519,615,515
一般正味財産期首残高	△ 72,887,145	△ 29,926,776	587,321,845	484,507,924	7,598,769	△ 1,376,618	6,222,151	12,225,021		502,955,096
一般正味財産期末残高	△ 76,720,564	△ 35,634,077	75,779,564	△ 36,575,077	9,010,619	△ 1,757,451	7,253,168	12,661,490	0	△ 16,660,419
Ⅱ　指定正味財産増減の部							0			
受取補助金等				0			0			0
一般正味財産への振替額				0			0			0
指定正味財産修正額			521,000,000	521,000,000						521,000,000
当期指定正味財産増減額	0	0	521,000,000	521,000,000	0	0	0	0	0	521,000,000
指定正味財産期首残高				0			0			0
指定正味財産期末残高	0	0	521,000,000	521,000,000	0	0	0	0	0	521,000,000
Ⅲ　正味財産期末残高	△ 76,720,564	△ 35,634,077	596,779,564	484,424,923	9,010,619	△ 1,757,451	7,253,168	12,661,490	0	504,339,581

財産目録

平成30年 3月31日現在

一般会計　　（単位:円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
（流動資産）				
	現金	手元保管	つり銭準備金として	130,000
	預金	普通預金	運転資金として	40,794,458
		普通（伊予銀行）		4,036,624
		普通（愛媛銀行）		24,115,693
		普通（愛媛信用金庫）		8,609,172
		普通（県信漁）		558,815
		普通（県信連）		1,244,893
		普通(預り金)		462,751
		普通(書籍)		196,940
		普通(グッズ精算)		182,908
		普通(メダル)		1,386,657
		普通(物産)		5
	未収金			43,704,073
	会費収入			145,000
	販売収入			131,400
	手数料収入			67,218
	物産収入			42,360,455
	補助金等収入			1,000,000
	棚卸資産			1,898,825
流動資産合計				86,527,356
（固定資産）				
基本財産			公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	
	基財・預金債権			521,000,000
	定期（伊予銀行）			10,000,000
	定期（伊予銀行）			100,000,000
	定期（伊予銀行）			45,000,000
	定期（伊予銀行）			150,000,000
	定期（愛媛銀行）			45,000,000
	定期（愛媛銀行）			55,000,000
	定期（愛媛銀行）			30,000,000
	定期（愛媛信用金庫）			56,000,000
	定期（愛媛信用金庫）			20,000,000
	定期（県信漁）			10,000,000
	投資有価証券			0
	有価(国債)			0
特定資産				
	退職給与引当預金			6,553,761
	伊予銀行(普通)			6,553,761
その他固定資産				
	電話加入権		公益目的事業に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産であり、管理運営の用に供している。	149,968
	什器備品		公益目的事業に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産であり、収益事業の用に供している。	21,882
	収益目的保有財産	松山城ﾛｰﾌﾟｳｪｲ駅舎3階	物産陳列ケース	21,882
固定資産合計				527,725,611
資産合計				614,252,967
（流動負債）				
	未払金等			70,628,531
	未払金		公益目的事業等に供する支払	49,784,219
	仮受金		松山市へ返還すべき市補助金	20,844,312
流動負債合計				70,628,531
（固定負債）				
	退職給付引当金			39,284,855
固定負債合計				39,284,855
負債合計				109,913,386
正味財産				504,339,581

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

（1） 有価証券の評価基準及び評価方法

当年度期末において、有価証券は保有していない。

（2） 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は、取得原価法であり、評価方法は、最終仕入原価法で行っている。

（3） 固定資産の減価償却の方法

什器備品について、定率法の直接法により減価償却を行っている。（償却率：0.25）

（4）リース取引の処理方法について

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

（5）引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

（6）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基財・預金債権	521,000,000	0	0	521,000,000
投資有価証券		0	0	0
小計	521,000,000	0	0	521,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	3,553,761	3,000,000	0	6,553,761
小計	3,553,761	3,000,000	0	6,553,761
合計	524,553,761	3,000,000	0	527,553,761

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
基財・預金債権	521,000,000	（521,000,000）	（0）	（　－）
投資有価証券	（0）	（0）	（0）	（　－）
小計	521,000,000	（521,000,000）	（0）	（　－）
特定資産				
退職給付引当資産	6,553,761	0	0	（6,553,761）
小計	6,553,761	0	0	（6,553,761）
合計	527,553,761	（521,000,000）	0	（6,553,761）

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

（単位：円）

什器備品	取得価額	当期償却額	減価償却累計額	当期末残高
電話加入権	149,968	0	0	149,968
什器備品	547,050	5,470	525,168	21,882
合計	697,018	5,470	525,168	171,850

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
運営補助金	松山市	0	171,534,688	171,534,688	0	一般正味財産

6. 一般正味財産から指定正味財産への修正について

「正味財産増減計算書」の「一般正味財産修正額」および「指定正味財産修正額」に計上している521,000,000円は、平成29年9月に実施された愛媛県の監査において、『基本財産について財務諸表では指定正味財産に計上すべきである』との指摘を受けたため、今年度資料から指定正味財産として記載するとともに「貸借対照表」においても「指定正味財産」として記載した。

附 属 明 細 書

１．基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため、省略する。

２．引当金の明細

財務諸表の注記に記載しているため、省略する。